とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年10月20日（月）
クラス名（年齢）	たんぽぽ組（2歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

・おしろい花の種で遊ぼう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・園庭に咲いていたおしろい花にたくさん種ができ、集めて楽しんでいる姿から種を割って見せたら面白そうだと思いこのテーマにした。

2、活動スケジュール

・一緒に種を摘み、種を割って見せる。
・中身が粉になる様子を見たり、粉を手に塗るなどして楽しむ。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・種を入れるためのペットボトルで作ったバッグを用意する。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・一緒に種を集めて楽しむ。
・保育者が種を割ったり剥いたりして中身を見せる。
・種の中身に触れたり、粉にしたものを手に塗るなどして楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・おしろい花の種がたくさんできていることに気付き、集めて楽しんでいた。下に落ちていることに気付き、拾い集める子どももいた。 ・保育者が種を剥いて中身を出し、潰して粉になる様子を見せた。「白いね」と外側と色が違うことに気付いたり、自分で潰そうとしていた。 ・保育者が粉を掌に塗り伸ばす様子を見せると真似をして、手が白く染まる様子を楽しんだ。 ・生長途中の緑色の種があることに気付き、「これなあに？」と聞くので「種だよ」と伝えると、不思議そうに見ていた。皮が柔らかいので子ども達も自分で皮を剥いてみると中身は小さく、粉にはならなかった。「小さいね」と言う声が聞こえた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・固い種から粉が出てくるという不思議な体験をとても楽しんでおり、種の外側と中身で色が違うことにも気付き、楽しむ様子が見られた。また、緑色の種に興味を持ったのは予想外だった。「自分でやりたい」という気持ちから、子ども達が自分から皮を剥く様子が見られた。中身が小さかったり、まだできていなかったりと、色々な種があることが分かり自分も勉強になった。これからも子ども達の興味関心に寄り添いながら楽しい活動をしていきたい。